



令和 4 年 境港市都市計画マスタープランの課題

1. 地域資源の保全と利活用	・観光交流面での利用促進（白砂青松の弓ヶ浜、島根半島と境水道を望む景観、中海の親水性） ・グリーンベルトの今後の景観維持存続と街路空間へのニーズとの間でホスピタリティと安全性との両面を実現する対応力 ・3 つの港を利用した地域経済のさらなる活性化と将来に向けた地方創生の取組 ・地域資源を積極的に活用したコミュニティの活性化に役立てる（自社、祭りなどの歴史的遺構、小公園、路地、空き地、空き家）
2. 危機管理と災害対応	・水害対応（市街化調整区域のうちによる内水貯留能力の保全、排水機等の防災施設の整備、災害時の避難施設・避難場所の確保、そこへの避難ルートの確保 ・原子力発電所の災害発生時の広域避難 ・密集市街地における都市災害の予防と減災対策（延焼危険区域および消防活動困難区域等での対策のあり方、消化体制も含めた総合的な検討）
3. 社会的弱者に対応した都市施設の整備	・移動のしやすさの確保（時間の制約、精神的な負担）することで、商業・医療・福祉・行政サービスを享受できるような対策 ・バリアフリー化の推進（市民、事業者、行政が相互に連携する具体的な取組み、バリアフリー化実施後の点検・評価や利用者の意見の聴取）
4. 土地利用規制	・拠点的地区（3 つの港、水木しげるロード周辺の商業・観光施設群、竹内工業団地、昭和町工業団地、西工業団地の工業地区、市役所周辺の官公庁地区）の機能向上（購買・飲食・文化・教育施設等の適切な配置、必要に応じて居住施設の導入） ・工業地区や市街化調整区域内農地と隣接する住居系市街地への悪影響の実態把握と、バッファゾーン（緩衝地帯）の形成方策の検討 ・地域の個別化を防ぐ検討
5. 新たな産業用地の確保	・戦略を立てた土地利用（まとまった産業用地の確保、市内に点在している空き家を活用した用地確保や空き地、耕作放棄地等の未利用地の活用など、産学連携による新産業創出など、その産業の今後の方向性や必要とする産業の明確化）
6. 身の丈に合った社会基盤	・次世代に負担を残さない効率的・効果的な公共施設等の規模やあり方の検討 ・住民ニーズを勘案して公共施設の集約化、複合化、多機能化の検討。健全な状態を維持する適正な維持管理方法の検討。 ・インフラのメンテナンスサイクルの構築。施設種別ごとの特性や施設の重要性を考慮した長寿命化。 ・4 m未満の狭隘道路の整備 ・地域交通システムの推進（JR とバスの連携による利便性の向上。自転車をはじめとしたパーソナル移動手段の利用促進）
7. 豊かさの追求（量から質へ）	・低炭素化の推進（ゼロカーボンシティへの取組み（バイオマス発電など）） ・スマートシティへの基盤構築 ・人々のウェルビーイング（well being）に資する、未来の地域づくりモデルの検討

立地適正化計画の策定に関わる

- ・土地利用
- ・産業基盤
- ・居住性

：施設環境、交通環境、防災状況等

について、これまでの都市計画マスタープランの課題に対する対策の実施状況も踏まえ、策定方針及び計画策定の検討に必要なデータを整理する。

①、②より
境港市立地適正化計画を策定するにあたっての基本方針を整理する。

- ・都市機能誘導区域、居住誘導区域の策定方針
- ・防災指針の策定方針等

人口減少が進む中で適正なコミュニティが維持できるように！

（アンケート『まちづくりに関する 100 の質問』（有効回収部数 1,164（郵送配布 3,000 部）、回収率 38.8%）及び、各地区で実施されたワークショップより整理）